

データの流れ

調査票(質問表)による調査
統計資料の分析調査(2次資料の統計処理)
自由面接(インタビュー)
参与観察(フィールドワーク)
生活史法(ライフヒストリー法)
ドキュメント分析

集計データ

原データ
生データ

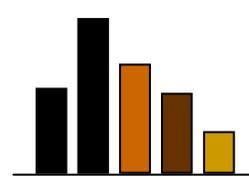
個票

分析過程

あかやま企業総合GISは、岡山県道ハイウェイを活用して県下全域の航空写真のデジタルオルソ画像を配信する企業初の本格的な企業総合GIS(地理情報システム)として、岡山県が整備を進めているものです。

このシステムは、行政サービスの質の向上を図るとともに、岡山県が保有する各地域情報をも市民のみなさんへ広く提供することにより、県民生活の利便性の向上を図ることを目的としています。平成14年4月から運用を開始していますが、今後、農業振興、観光振興、環境、都市計画等の幅広い分野において、順次取り込むこととしています。

データベース
分析結果



あかやま企業総合GISは、岡山県道ハイウェイを活用して県下全域の航空写真のデジタルオルソ画像を配信する企業初の本格的な企業総合GIS(地理情報システム)として、岡山県が整備を進めているものです。

このシステムは、行政サービスの質の向上を図るとともに、岡山県が保有する各地域の情報をもみなさんへ広く提供し、生活の利便性の向上を目的としています。平成14年4月から運用を開始していますが、今後、農業振興、観光振興、環境、都市計画等の幅広い分野において、順次取り込むこととしています。

データの尺度

- 名義尺度 (nominal scale)
 - 対象 (の性質) を区別するもの
 - 割り振られた数値は単なるコード
 - 性別, 背番号, 地区, 商品番号
- 順序尺度 (ordinal scale)
 - 対象の大小・強弱など順序関係を区別するもの
 - 割り振られた数値は順序のみ示す (間隔に意味はない)
 - マラソンの順位, 成績の順位, 等級, 時代, 好き嫌い
- 間隔尺度 (interval scale)
 - 対象の量的な大きさを測るもの
 - 割り振られた数値は等間隔であることが保証されている (差に意味をもつ = 絶対零点がない)
 - 摂氏温度, 西暦年号, テストの点
- 比例尺度 (ratio scale)
 - 対象の量的な大きさを測るもの
 - 割り振られた数値は比例関係が保証されている (比に意味をもつ = 絶対零点が存在)
 - 身長 (長さ), 体重 (重さ), 容量 (かさ)

質的データ
計数データ
カテゴリカルデータ
離散量

量的データ
計量データ
連続量

データの形

ケース
観測値

変数(変量・項目・要因)

個体	[1]				[2]	[2]				
	(1)	(2)	(3)	(4)	ネット	(1)				
	性別	年齢	出身	居住	利用	情報交換	情報発信	情報収集	その他	記述内容
MI10001	1	4	1	1	1	1	0	0	0	
MI10002	1	4	8	2	0	0	1	0	0	
MI10003	1	4	2	2	1	0	0	0	0	
MI10004	1	4	1	1	1	0	0	0	0	
MI10005	1	4	1	1	1	0	0	1	0	
MI10006	2	3	1	1	1	0	1	0	0	
MI10007	2	3	1	1	0	0	0	0	0	
MI10008	2	3	1	2	1	0	0	0	0	
MI10009	1	3	2	2	0	0	0	0	0	
MI10010	2	3	1	1	1	0	0	0	0	
MI10011	1	3	1	1	0	1	0	0	0	
MI10012	1	3	1	1	0	0	1	1	0	
MI10013	1	3	1	2	1	0	0	0	0	
MI10014	1	3	1	1	0	0	0	0	1	単なる趣味
MI10015	1	3	1	-	1	0	0	0	0	
MI10016	1	3	2	2	0	0	0	0	0	
MI10017	1	3	7	2	1	0	0	0	0	
MI10018	1	3	1	1	0	0	0	0	0	
MI10019	1	3	1	1	1	0	0	0	0	
MI10020	1	3	1	1	0	0	0	0	0	
MI10021	1	3	7	2	1	1	0	1	0	
MI10022	1	3	1	1	0	1	0	0	0	
MI10023	1	3	1	1	1	0	0	0	0	
MI10024	1	4	1	1	1	0	0	1	0	
MI10025	1	4	1	1	1	0	0	0	0	
MI10026	2	3	1	1	1	1	0	0	0	

集計方法

- 単純集計
 - 質的データ
 - 度数カウント(度数分布表の作成)
 - 量的データ
 - 平均, 標準偏差, 最大値, 最小値 (= 基本統計量)などを求めて, わかることを考察する。
- 複合集計
 - 複数の変数を関連させて集計する。たとえば,
 - 質×質: 性別に集計 クロス集計(χ^2 検定)
 - 量×量: 散布図
 - 質×量: 性別, 用途別の使用金額平均などができる。
- 結果の視覚化
 - 表やグラフなどに表し, 傾向を把握する。
(上記の結果もうまく視覚化するとよい。)
- 統計的仮説検定
 - 必要ならば, 検定などを行い, より深い考察を行う。
- 多変量解析
 - 回帰分析など